

鯖江市議会・市民創世会

大門よしかずレポート



鯖江市新横江1丁目7-22 TEL/FAX(0778)-52-7488 携帯 090-6810-2462

9月議会一般質問より

福井国体に向けての取り組みを、街の美化とアクセス歩道の整備を中心に質問と提案を行いました。

1、花いっぱい運動への取り組みについて

来年度から県による「花いっぱい運動」が展開されます。県推奨の花の栽培支援、アクセス道路沿いの花木、植栽を積極的に支援します。より多くの市民の皆様が楽しみながら参加する形で街並みを花で飾り全国からお越しになる方々を暖かいおもてなしの心で歓迎する取り組みを進めていきます。



また「花によるまちづくりコンクール」への支援事業において今年度はコンクール参加者に対して啓発グッズ（大会マスコット「はぴりゅう」の花壇用看板）を贈り、本大会に向けての意識の高揚を図ります。

2、県道における「みちもり道守活動」とは

県国体推進局では「みんなで進める美しい道づくり運動」として歩道の植樹樹などを活用して行うボランティア活動と呼びかけています。

この制度の概略は

① 年初に県土木と契約を交わし、今年度の活動計画



を提出し、年末に報告書を提出する。

② 一団体につき10万円を上限として花苗、種子、肥料などの現物給付を行う。

というものです。

鯖江市において昨年度は8団体がこの制度を利用して道路美化を推進しています。

3、鯖江市のまち美化への取り組みについて

鯖江市では数多くの施策でまち美化の取り組みを行っています。

① 「花によるまちづくりコンクール」は市民主役事業として「パークサポートLLP」が企画運営しています。応募団体は徐々に増加

② 「ふる里さばえ美化ピカ活動」はJK課や市民団体が推進

③ 「日野川を美しくする会」において河川一斉清掃を実施



④ 優れた環境活動を顕彰する「鯖江市環境街づくり大賞」の授与

⑤ 不法投棄監視カメラの設置

⑥ 事業所に敷地内や敷地に面する歩道などの公共空

間の美化活動に協力していただく「まち美化実践事業所」の登録

- ⑦ 「わが街環境美化活動支援事業」として道路、河川、公園の里親制度を設け、補助を実施（今年度は道路35団体、河川2団体、公園79団体が登録。今後さらに増やしたい）
- ⑧ 今年度からは環境美化アドバイザーを配置。県土木に国道、県道の維持管理を要請など、福井国体の開催に向けて、まち美化によるおもてなしの心の醸成を図っていきます。

4、ゴミやタバコの吸い殻のポイ捨て対策

鯖江市環境市民条例を定め、ゴミのポイ捨て禁止の周知を図っています。平成22年12月から罰則規定（3万円以下の過料）を追加しています。しかし、これまで罰則の適用事例はありません。



今後の啓発活動としては広報、ホームページ、看板の設置などに加え「ポイ捨てしない人づくり」のための集中的なキャンペーンの実施を検討していきます。

5、ペットのふん放置対策について

鯖江市ではペットのふん対策として昨年度から「イエローカード作戦」を実施しています。この活動

は町内の住民が主体となって、地域の皆さんで取り組む「犬のふん放置対策」です。しかし、市民への周知が充分で

なく、今まで2件の実施のみです。

今後、申請の簡略化や、広報による周知に努める



とともに、モデル地区による実践活動による啓発を検討していきます。

6、駅東大通りの歩道整備事業

本年度より3つの事業が予定されています。

① 快適歩行空間整備事業

街路樹の根上りに伴う植樹枠の破損などにより、歩道が凸凹している箇所の補修を行い、安全で快適な歩行空間を確保する事業。



② 「メガネロード」整備事業

ふるさと納税の新サイト「F×Gさばえ」が寄付を募る事業。植樹枠をメガネフレーム型ベンチとし、歩道のタイルにメガネのマークをあしらうなど、メガネロードとして整備。

③ 自転車通行帯の整備事業



鯖江駅から穴田川左岸まで車道の路側帯を青くペイントする自転車通行帯の整備。

7、その他の補修について

- ① JR鯖江駅南側地下道のクリーンアップおよびサインの見直し。
- ② 車いすやシルバーカーの走行に支障のある段差および点字ブロックの点検補修。
- ③ 街路樹対策。
などは今年度と来年度にかけ対応していきます。



なお、歩行者に対する適切な道案内看板の設置を要望しました。

8、鯖江駅から五郎丸踏切までの歩道整備

この区間の歩道は歩行者に加え、キャリーバッグを引く歩行者、自転車など、多くの人が通行します。また、国体開催時は、サンドームで障がい者スポーツ大会が実施されます。弱視の方、車いすの方も利用が想定されます。今より安全で快適な歩行空間を確保する必要があります。

具体的には

- ①車いすが通行しやすいように段差の解消
- ②波打ち歩道の解消
- ③切り下げ部の勾配の緩和
- ④狭い部分の無い連続した幅2m以上の歩道の確保
- ⑤視覚障がい者誘導ブロックの改善



などです。これらの問題を解決するには車道部分の嵩上げによる歩道のセミフラット化と、街路樹および植樹柵の撤去を

検討する必要があります。

市の答弁では歩行者の安全な歩行空間を確保するため、県と一体となって整備を進めるよう努力するとの事です。

9、宮前踏切までの歩道の修景について

五郎丸踏切から宮前踏切までの間はセミフラット形式の歩道に整備され、段差や、波打ちはありませんが、途中の風景は決して良いものではありません。すなわち、資源物置き場が2か所、雑草が生い茂る空き地、耕作放棄地、廃屋跡地などが連続しています。この区間の修景について市は空き地や敷地の適正な管理の要請、街路樹の剪定や植樹柵の草刈りなどに努めて行くとの事です。



10、舟津神社前の市有地の整備提案

舟津神社東側道路向こう側に、かつて市道だった市有地があります。その南側3分の2程は民間業者が管理していますが、北側3分の1程は雑草の生い



茂る空き地になっています。

ここを整備し、歩行者が一息できるポケットパークの整備を提案しました。

駅からサンドームまでの間は宮前踏切近くに休憩用のベンチ（石づくり）が2～3個あるのみです。せめて、この場所に木蔭と休憩用のスペースを整備すれば「おもてなし」の気持ちが表わせ、歩行者に喜んで貰えるのではないのでしょうか。また、北陸随一の古社と言われ、県や市の文化財が多数ある舟津神社に目を向けてもらえ、参拝のきっかけを作れるのではないのでしょうか。

11、五郎丸踏切拡幅工事の概要について

現在の踏切は前後の道路より狭く、通行するには危険な状態です。

また、小中学校の通学路でもあり、従来より県に対して拡幅整備の要望を行ってきました。

その概要は、踏切を含む前後110mについて、南側に2.5～3.5mの歩道を設置する計画です。

JRとの実施協議を行いながら、詳細設計を進めています。国体開催時までには完成する予定との事です。



東京にある 福井県アンテナショップ

東京には日本全国道府県のアンテナショップがあります。福井県も2店舗ありますのでご紹介します。

1、ふくい南青山291

東京都港区南青山5丁目 4-41 グラッセリア青山内

※東京メトロ千代田線・銀座線・半蔵門線「表参道駅」B3出口より徒歩5分



高級住宅街の中にあります。地下鉄の駅出口から案内看板がないため、初めて行くにはちょっと分かりづらいと思います。入り口では写真のように、恐竜博士がベンチに座って迎えてくれます。



店内は越前漆器や越前焼、和紙、打ち刃物など福井県を代表する伝統工芸品やお酒、食品などをたくさん取り揃えています。

東京に行かれた際、お時間に余裕のあるときは是非お立ち寄りください。

2、食の國 福井館

東京都中央区銀座 1-3-3 銀座西ビル1F

※東京メトロ有楽町線・銀座1丁目駅 徒歩約3分

※東京メトロ銀座線・銀座駅 徒歩約5分

※JR有楽町駅 徒歩約5分



福井の食の専門店です。ここも初めて行くには少し分かりづらいかもしれません。

通常のコンビニエンス

ストア半分位のスペースで食に特化した福井の特産物を販売しています。鯖江の銘酒も良く出ているそうです。

店内には厨房と8席のイートインコーナーが設けられ、産地直送の食材による出来立てのおろしそば、ソースかつ丼などが食べられます。



この店の周辺には他県のお店がひしめきあい、まさにアンテナショップ銀座とも言えます。時間を掛けてこれらの店を見て歩くのも楽しいと思います。

あとがき

この頃は急に秋が深まり、明け方は寒さを感じるようになりました。体調を崩した方も多いのではないのでしょうか。

さて、每期ごとに鯖江市議会報が発行されますが、字数の関係で詳しい内容まではなかなかお伝えできません。このレポートでより詳しくご理解いただければうれしく思います。